

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 数学 科目 数学 I

教科： 数学 科目： 数学 I 単位数： 3 単位

対象学年組： 第 1 学年 1 組～ 8 組

教科担当者： （多田・御園・吉江・宮崎・久保木・長谷）

使用教科書： （数研出版 新編 数学 I ）

教科 数学 の目標：

- 【知識及び技能】 数と式、二次関数、三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数と式、二次関数、三角比を用いて事象を数式化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】 数と式、二次関数、三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数と式、二次関数、三角比の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。
- 【学びに向かう力、人間性等】 数と式、二次関数、三角比について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

科目 数学 I の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
数と式、二次関数、三角比についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数と式、二次関数、三角比を用いて事象を数式化し、数学的に解釈し、数学的に表現・処理する技能を身に付ける。	数と式、二次関数、三角比を活用して事象を論理的に考察する力、事象の本質や他の事象との関係を認識し発展的に考察する力、数と式、二次関数、三角比の表現を用いて事象を的確に表現する力を身に付ける。	数と式、二次関数、三角比について、数学の良さを認識し積極的に数学を活用しようとする態度、粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
数と式 【知識及び技能】 数と式の考え・記号を理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 数と式に関する記号を適切に使える。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	数と式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 数と式の考え、記号を理解している。 【思考・判断・表現】 数と式に関する記号を適切に扱い、問題に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	7
因数分解 【知識及び技能】 因数分解を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 因数分解を計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	因数分解 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 因数分解の考え方を用いて、計算することができる。 【思考・判断・表現】 因数分解の応用を計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
平方根 【知識及び技能】 平方根について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 平方根を計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	平方根 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 平方根の記号を理解し、適切に使うことができる。 【思考・判断・表現】 平方根について様々な計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	9
1次不等式 【知識及び技能】 1次不等式を理解し、計算する。 【思考力、判断力、表現力等】 1次不等式を用いて様々な問題を解く。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	1次不等式 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 1次不等式の考え方を用いて、解くことができる。 【思考・判断・表現】 文章題を読み、1次不等式を用いて計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	9
定期考査			○	○		1
2次関数(1) 【知識及び技能】 放物線を理解し、2次関数のグラフを書く。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数を正確に把握し、適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	2次関数(1) 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 放物線を理解し、2次関数のグラフを書くことができる。 【思考・判断・表現】 平方完成を正確に把握し、適切に計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
2次関数(2) 【知識及び技能】 2次関数の最大最小を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次関数の最大最小を適切に計算できる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	2次関数(2) 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 2次関数の最大最小を理解できる。 【思考・判断・表現】 2次関数の最大最小を計算し、様々な問題に活用することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	10
定期考査			○	○		1
2次関数(3) 【知識及び技能】 2次方程式・不等式を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 2次方程式・不等式を正確に把握し、適切に計算する。また、それらの考えを様々な問題に活用する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。	2次関数(3) 教科書・問題集を用いて指導する。	【知識・技能】 2次方程式・不等式を理解できる。 【思考・判断・表現】 2次方程式・不等式を正確に把握し、適切に計算することができる。また、2次不等式を用いた様々な問題を解くことができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。	○	○	○	20
定期考査			○	○		1

3 学 期	<p>三角比</p> <p>【知識及び技能】 三角比の性質を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 学んだ三角比の性質を用いて、 な角度や辺の長さを計算する。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。</p>	<p>三角比</p> <p>教科書・問題集を用いて指導する。</p>	<p>【知識・技能】 三角比の性質を理解している。 【思考・判断・表現】 三角比の性質を用いて、問題に取組み、 角度や辺の長さを計算することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	<p>正弦定理・余弦定理</p> <p>【知識及び技能】 正弦定理・余弦定理の計算ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 図形をかくことで、辺や角度を求め ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。</p>	<p>正弦定理・余弦定理</p> <p>教科書・問題集を用いて指導する。</p>	<p>【知識・技能】 正弦定理・余弦定理を3考えることができ る。 【思考・判断・表現】 図形をかくことで、辺や角度を求め ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 真剣に授業に取り組んでいる。</p>	○	○	○	10
	<p>定期考査</p>			○	○		1
	<p>データの分析</p> <p>【知識及び技能】 データの分析に用いる記号を理解す る。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なグラフからデータを読み取 る。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。</p>	<p>データの分析</p> <p>教科書・問題集を用いて指導する。</p>	<p>データの分析</p> <p>【知識及び技能】 データの分析に用いる記号を理解でき る。 【思考力、判断力、表現力等】 様々なグラフからデータを読み取 ることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 真剣に授業に取り組んでいる。</p>	○	○	○	6
						合計	105

年間授業計画 新様式例

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 体育

教科：保健体育 科目：体育 単位数：3 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1～8組：奥村・笹川・渡部・渋谷・新妻）

使用教科書：（現代保健体育 大修館）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生体について運動を意欲的に継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付ける。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝える。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝える。

【学びに向かう力、人間性等】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組むようとする。また、健康を大切にし、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組むようとする。

科目 体育 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦に応じた技能で仲間と連携しゲームが展開できるようにする。技術の名称や行い方、体力的な高み方、運動観察の方法などを理解できるようにする。	自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。	自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。自己の責任を果たそうとすることや、作戦などの話し合いに貢献しようとする。健康・安全を確保することができるようにする。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数	
1 学 期	・休つくり運動 【知識及び技能】 ⇒体を動かす楽しさや心地よさの意味、運動を継続する意義、体の構造、運動の原則などを理解するとともに、健康の維持増進や体力の向上を目指し、目的に適した運動の計画を立てて取り組むことができるようになる。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒仲間と協力して課題を達成するなど、集団で挑戦するような運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりすること。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒一人一人の違いに応じた動きなどを大切にしようとする。	・指導事項 ⇒リズムに乗って心が弾むような運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりすること。 ⇒のびのびとした動作で用具などを用いた運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりすること。 ⇒緊張したり緊張を解いて脱力したりする運動を行うことを通じて、気付いたり関わり合ったりすること。	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・陸上競技（短距離走） 【知識及び技能】 ⇒自己の最大スピードを高めたり、腕振りや脚の動きを調整させた全身の動きで速く走ることができるようにする。 ⇒技術の名称や行い方、体力的な高み方、運動観察の方法を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒スタート（クラウチングスタートなど） ⇒中間疾走（ピッチとストライドなど） ⇒フィニッシュ（姿勢、トルソーなど） ⇒ゲーム ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・球技：バスケットボール 【知識及び技能】 ⇒基本技術やチームの特徴を生かし、チーム戦術や相手の状況に応じた攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒パス、シュート ⇒個人戦術 ⇒チーム戦術 ⇒ゲーム ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	36
	・球技：サッカー 【知識及び技能】 ⇒基本技術やチームの特徴を生かし、チーム戦術や相手の状況に応じた攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒パス、シュート ⇒個人戦術 ⇒チーム戦術 ⇒ゲーム ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・武道 【知識及び技能】 ⇒伝統的な考え方や、技の名称や体力的な高み方について理解している。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒受け身 ⇒立ち技 ⇒寝技 ⇒組手	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
2 学 期	・体育理論 【知識及び技能】 ⇒スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、学習した知識を活用したり応用できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴について、課題を解決するための活動を通して、学習に自主的に取り組むようとする。	・指導事項 ⇒スポーツの歴史、文化的特性や現代のスポーツの特徴 ⇒スポーツの歴史とその変化 ⇒スポーツの技術、戦術、ルールの変容 ⇒オリンピックムーブメントとドーピング ⇒スポーツの経済的効果とスポーツ産業	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・バレー 【知識及び技能】 ⇒役割に応じたボール操作と連携した動き、定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 ⇒技術の名称や行い方、体力的な高み方、運動観察の方法を理解できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒パス（オーバー、アンダー） ⇒サーブ ⇒スパイク ⇒ゲーム ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・球技：ソフトボール 【知識及び技能】 ⇒難しい投球に対する安定した打撃による出塁・進塁・得点となる攻撃と仲間と連携した守備のバリエーションの取れた攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒キャッチボール（捕る・投げる） ⇒ティールバットイング（打つ） ⇒シートバット（捕る・投げる） ⇒ゲーム ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	42
	・ダンス 【知識及び技能】 ⇒リズムの特徴を捉え、変化のある動きを組み合わせて、リズムに乗って全身で踊ることができるようにする。ダンスの特性、振り付けや表現の仕方、関連して高まる体力などを理解することができるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、良さを認め合うこと、分限した役割を果たそうとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒ストレッチ ⇒アイソレーション ⇒リズム取り ⇒振り ⇒グループワーク ⇒発表	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・球技：サッカー 【知識及び技能】 ⇒基本技術やチームの特徴を生かし、チーム戦術や相手の状況に応じた攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒パス、シュート ⇒個人戦術 ⇒チーム戦術 ⇒ゲーム ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
3 学 期	・陸上競技（長距離走） 【知識及び技能】 ⇒目標タイムを達成するペース配分を自己の技能・体力の程度に合わせて設定し、そのペースに応じたスピードを維持して一定距離を走り通し、タイムを短縮したり、競争したりできるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒時間走 ⇒タイムトライアル ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
	・武道 【知識及び技能】 ⇒ラリーを続けることを重視して、ボールや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒ラリー（フォア・バック） ⇒サーブ ⇒ゲーム（シングル） ⇒ゲーム（ダブルス） ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	27
	・バドミントン 【知識及び技能】 ⇒ラリーを続けることを重視して、シャトルや用具の操作と定位置に戻るなどの動きによって空いた場所をめぐる攻防を展開できるようにする。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒自己の課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒自主的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする。健康・安全を確保することができるようにする。	・指導事項 ⇒ラリー（フォア・バック） ⇒スマッシュ、ヘアピン、ドライブ、ハイクリアなど ⇒サーブ ⇒ゲーム（シングル） ⇒ゲーム（ダブルス） ⇒ボジョニンゴなど ⇒一人1台端末の活用 等 ⇒グループで撮影して自己評価相互評価	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動ができる。	○	○	○	
合計						105	

高等学校 令和5年度（1学年用） 教科 保健体育 科目 保健

教科：保健体育 科目：保健 単位数：1 単位

対象学年組：第1学年 1組～ 8組

教科担当者：（157組：笹川）（36組：渋谷）（248組：奥村）

使用教科書：（現代保健体育 大修館）

教科 保健体育 の目標：

【知識及び技能】運動の合理的、計画的な実践に関する具体的な事項や生涯にわたって運動を豊かに継続するための理論について理解しているとともに、目的に応じた技能を身に付ける。また、個人及び社会生活における健康・安全について総合的に理解しているとともに、技能を身に付ける。

【思考力、判断力、表現力等】自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝える。また、個人及び社会生活における健康に関する課題を発見し、その解決を目指して総合的に思考し判断しているとともに、それらを他者に伝える。

【学びに向かう力、人間性等】運動の楽しさや喜びを深く味わうことができるよう、運動の合理的、計画的な実践に主体的に取り組もうとする。また、健康を大切に、自他の健康の保持増進や回復及び健康な社会づくりについての学習に主体的に取り組もうとする。

科目 保健 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
健康の保持増進に必要な事柄について、健康を保持増進するためには、適切な生活行動を選択すること及び環境を改善していく努力が必要であることを理解し、課題解決に役立つ知識を身に付けることができるようになる。	健康の保持増進に必要な事柄について、自分のこれまでの学習や経験をもとにして、資料や仲間の意見などを参考にしたりして、課題の設定や解決の方法を考え、選択すべき行動を判断できるようにする。	健康の保持増進に必要な事柄について、仲間と協力し、資料を集めたり、意見を交換したり、課題について調べたりして、意欲的に学習することができるようにする。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	・現代社会と健康 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持つようになる。	・指導事項 ①健康の考え方と成り立ち ②私たちの健康のすがた ③生活習慣病の予防と回復 ④がんの原因と予防 ⑤がんの治療と回復 ⑥運動と健康 ⑦食事と健康 ⑧休養・睡眠と健康 ⑨喫煙と健康 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べるができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	11
	期末考査			○	○		1
2 学期	・現代社会と健康 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持つようになる。	・指導事項 ⑩飲酒と健康 ⑪薬物乱用と健康 ⑫精神疾患の特徴 ⑬精神疾患の予防 ⑭精神疾患からの回復 ⑮現代の感染症 ⑯感染症の予防 ⑰性感染症・エイズとその予防 ⑱健康に関する意志決定 ⑲健康に関する環境づくり ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	13
	期末考査			○	○		1
3 学期	・安全な社会生活 【知識及び技能】 ⇒健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるような知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ⇒課題学習を取り入れることにより、現在および将来の生活において健康・安全の課題に直面した場合に的確な思考・判断を行うことができるようになる。 【学びに向かう力、人間性等】 ⇒生涯にわたって、自らの健康を管理しようとする意欲を持つようになる。	・指導事項 ①自己の現状と発生要因 ②安全な社会の形成 ③交通における安全 ④応急手当の意義とその基本 ⑤日常的な応急手当 ⑥心肺蘇生 ・グループワーク ・一人1台端末の活用 等 ⇒調べ学習	【知識・技能】 ・自ら、新たな知識・技能等を身に付け、定着させていくことができる。 【思考・判断・表現】 ・行動や学んだことを自分で振り返り、自己評価を具体的に述べることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・集団全体の中での規則の意味や効果を理解し、自らそれに則った生活・行動できる	○	○	○	8
	期末考査			○	○		1

板橋 高等学校 令和5年度（1学年用） 教科:外国語 科目:論理・表現Ⅰ

教科：0 科目：論理・表現Ⅰ 単位数：2 単位

対象学年組：第1学年 1組～8組

教科担当者：（1組：岡城,加藤,高橋）（2組：岡城,加藤,高橋）（3組：加藤,高橋,竹内）（4組：加藤,高橋,竹内）
（5組：竹内,土田,岡城）（6組：竹内,土田,岡城）（7組：高橋,土田,加藤）（8組：高橋,土田,加藤）

使用教科書：（MY WAY Logic and Expression I）

教科 0 の目標：

- 【知識及び技能】外国語の表現等を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。
- 【思考力、判断力、表現力等】外国語で情報や考えを的確に理解し、これらを活用して適切に表現することができる力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】外国語の背景にある文化を理解し、配慮をしつつ主体的にコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。

科目 論理・表現Ⅰ の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
英語の音声、句読法、語、連語及び慣用表現、文構造及び文法事項を理解し、その知識を実際のコミュニケーションにおいて活用できる技能を身に付ける。	日常的な話題や社会的な話題について、英語を聞いたり読んだりして得られた情報や考えなどを活用しながら、話したり書いたりして自分自身の考えなどを適切に表現する力を養う。	ペアやグループで、やり取りを通して、情報を得たり考えを伝え合う中で、多様な考えを受け入れ、相手に配慮をしながら、受信と発信をして互いを高める姿勢を身に付ける。

単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域				評価基準	知	思	態	配 当 時 数
		聞	読	話 （ 「 や 」 ）	話 （ 「 発 」 ）					
1 学 期	Lesson 1 【知識及び技能】 現在形 (be動詞・一般動詞) の使い方を身に付ける 【思考力、判断力、表現力等】 会話・発表の基本 【学びに向かう力、人間性等】 自己紹介、話しかける	・指導事項 be動詞と一般動詞の現在形 の使い方 ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	○	○	5
	Lesson 2 【知識及び技能】 過去形、進行形 【思考力、判断力、表現力等】 情報の追加、ライティングの基本 【学びに向かう力、人間性等】 学校や町の紹介	・指導事項 be動詞と一般動詞の過去形 と進行形の使い方 ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	○	○	5
	定期考査			○		○	○	○		1
	Lesson 3 【知識及び技能】 未来表現、基本時制のまとめ 【思考力、判断力、表現力等】 予定についての会話 【学びに向かう力、人間性等】 聞き手の注意を引く	・指導事項 未来表現 現在・過去・未来の表現の まとめ ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson 4 【知識及び技能】 現在完了形 【思考力、判断力、表現力等】 料理の注文、食文化のレポート 【学びに向かう力、人間性等】 例を挙げる	・指導事項 現在完了形の形と使い方 ・教材 教科書、ワークブック ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査			○		○	○	○		1
2 学 期	Lesson 5 【知識及び技能】 助動詞・受動態 【思考力、判断力、表現力等】 道案内、地域の特徴の発表 【学びに向かう力、人間性等】 詳しく説明する	・指導事項 助動詞の使い方 受動態の作り方と使い方 ・教材 教科書、ワークブック ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	○	○	6
	Lesson 6 【知識及び技能】 不定詞 【思考力、判断力、表現力等】 買い物の会話、旅行先からの手紙 【学びに向かう力、人間性等】 手紙やメールでメッセージを送る	・指導事項 不定詞の使い方 ・教材 教科書、ワークブック ・一人1台端末の活用 等 語句調べ メールの作成	○	○	○	○	○	○	○	6
	定期考査			○		○	○	○		1
	Lesson 7 【知識及び技能】 動名詞・分詞 【思考力、判断力、表現力等】 スポーツの試合についての会話 【学びに向かう力、人間性等】 例を挙げる	・指導事項 動名詞と分詞の使い方 ・教材 教科書、ワークブック プリント ・一人1台端末の活用 等 語句調べ	○	○	○	○	○	○	○	7
	Lesson 8 【知識及び技能】 比較 【思考力、判断力、表現力等】 紙の本と電子書籍の良さについての会話 【学びに向かう力、人間性等】 相手の意見を受け入れてから、主張する	・指導事項 比較の表現 ・教材 教科書、ワークブック プリント	○	○	○	○	○	○	○	7
	定期考査			○		○	○	○		1

令和5年度

年間授業計画

都立板橋高校

教科・科目	総合的な探究の時間		単位	対象学年・組	1年1～8組必修
教科書 ・副教材等	人間と社会(東京都教育委員会著作準教科書)		教科 担当者	多田・御園・渋谷・加藤・高橋・望月・斎藤・冠木・山崎(仁)・渡部・笹川・山崎(綾)・佐治・小西・畑・船津	
目 標	一学期	人間の在り方生き方を踏まえ、自己の生き方や職業・進路選択について考える。社会貢献の大切さや文化の多様性を理解し、より良く生きていく基礎力を身に付ける。			
	二学期	学ぶこと・働くことの意義について考え、国際理解を深め、自己の進路実現を目指す。救急救命講習を通し、支え合う社会や自助・共助・公助の大切さを学び、より良く生きる力を身に付ける。			
	三学期	障害者理解の講習を通し、思いやりの心を育て、人権を尊重し差別のないより良い社会を実現しようとする態度を養う。一年間の学習について、総まとめを行い、より良く生きる力を養う。			
学期	月	単 元	時間	学習内容	
一 学 期	4月	「人間と社会」事前学習	12h	教科「人間と社会」の学習目的・内容を理解し、学ぶ意義を理解する。	
	5月	進路学習		様々な学問が、社会でどう活用されているのか知る。自分の適性について考え、職業に関する知識を増やす。	
	6月	働くことの意義		就業意識啓発の講話及びその事前事後学習により、働くことの意義・自分の在り方生き方について考える。	
	7月	地域美化・奉仕体験活動		地域清掃奉仕活動に意欲的に取り組む。	
二 学 期	9月	国際理解	14h	世界の中の日本を意識して、国際人としての貢献の方法を学ぶ。	
	10月	支え合う社会演習		支え合う社会の調査・研究の情報収集をし、発表、議論の仕方を学ぶ。	
	11月	救急救命講習 事前学習(講話等)		救急救命に関する理解を深める。	
	12月	救急救命講習		消防署職員を講師に招き、救急救命に関する理解を深める。	
三 学 期	1月	人間と社会～これからの生き方を考える	9h	これまで学んできたことを踏まえて、どのような社会にしていくなか考える。	
	2月	「人間と社会」事後学習		社会貢献や奉仕の精神、キャリアプランニング、道徳的価値について、一年間の学習を振り返りまとめる。	
	3月	車椅子体験学習		車椅子体験学習	
評価の観点 ・方法	「A・特別によく取り組んでいた、B・よく取り組んでいた、C・あまりよく取り組むことができなかった」で評価する。体験活動での評価も行い、校内・校外の体験活動を通して、意欲や態度、工夫や注意点の理解、提出物などから総合的に評価する。				